

灯台フレネルレンズの 贈呈式を行います。

高松港朝日町外防波堤北灯台で約 40 年間にわたり使用されてきたフレネルレンズが、瀬戸内海の海上交通の歴史を伝える資料として保存・活用するため、高松海上保安部から当館に寄贈されます。

フレネルレンズとは

フランスの物理学者フレネルが開発したレンズ。レンズをカットして軽量化しながら、光の集光・拡散をすることができるため、灯台などに多く用いられています。



1 日時 令和5年**10月18**日(水)

10:30～(30分程度)

2 場所 **瀬戸内海歴史民俗資料館** 玄関ロビー

(高松市亀水町 1412-2)

3 出席者 高松海上保安部 部長 藤吉 克博 (ふじよし かつひろ)
次長 豊田 幹廣 (とよた みきひろ)
交通課長 間賀 巧 (まが たくみ)
香川県立ミュージアム 館長 古沢 保典 (ふるさわ やすのり)
瀬戸内海歴史民俗資料館 館長 松岡 明子 (まつおか あきこ)

4 式次第

開式

目録の贈呈 高松海上保安部 部長 藤吉克博

香川県立ミュージアム 館長 古沢保典

挨拶 高松海上保安部 部長 藤吉克博

香川県立ミュージアム 館長 古沢保典

記念撮影

資料解説 高松海上保安部 交通課長 間賀 巧

閉式

5 その他

寄贈されたフレネルレンズは、瀬戸内海歴史民俗資料館の開館 50 周年記念事業として令和5年 10 月 28 日(土)・29 日(日)に開催される「れきみんナイトミュージアム ～夜の海とあかり～」において一般公開する予定です。当館の開館 30 周年記念事業として平成 15 年に敷地内に設置されたモニュメント「歴民の灯台」の中に展示し、夜間はランプを点灯して公開します。